

## 情報公開文書

研究の名称	当院での成人外斜視手術の臨床的背景と術後経過に関する後ろ向き調査
整理番号	
研究機関の名称	富山大学附属病院
研究責任者	富山大学附属病院 眼科 三原 美晴
研究の概要	<p><b>【研究対象者】</b> 富山大学附属病院で 2008 年 1 月から 2022 年 12 月までに斜視手術を施行された 18 歳以上の共同性外斜視で術後 3 ヶ月以上経過観察ができた患者</p> <p><b>【研究の目的・意義】</b> これまで外斜視の手術治療は、視機能発達期にある小児に効果があるものとされ、成人の外斜視手術は消極的に捉えられていました。しかし近年、成人の外斜視手術は、多くの患者で、整容的改善だけではなく機能的回復も十分に得られる報告が増加し、成人の斜視手術の意義が見直されています。そこで当院で蓄積された多くの成人外斜視手術の術後経過について調査し、術後斜視角の推移と両眼視機能、術後合併症に影響を与える因子の検討を行い、成人に最適な手術方法や手術時期の決定につなげることを目的とします。</p> <p><b>【研究の方法】</b> 研究対象者となった患者さんの診療録から、眼位、近見・遠見斜視角、両眼視機能を術前、術後 1 週、1 ヶ月、3 ヶ月、6 ヶ月、1 年で調査し、成人外斜視手術がもたらす整容的・機能的効果を検討します。さらに臨床的背景と治療効果の検討として年齢、発症年齢、既往歴、手術目的の特徴、手術方法と術量、術後合併症・再手術の有無を調査します。</p> <p><b>【研究期間】</b> 実施許可日から 2024 年 12 月 31 日まで</p> <p><b>【研究結果の公表の方法】</b> 学会発表、論文掲載を予定しています。</p>
研究に用いる試料・情報の項目と利用方法 (他機関への提供の有無)	手術前後の眼位、斜視角、および両眼視機能、年齢、性別、発症年齢、手術目的、術式、手術矯正量、術後合併症の有無、再手術の有無 他機関への情報の提供：無
研究に用いる試料・情報を利用する機関及び施設責任者氏名	富山大学附属病院 病院長 林 篤志
研究資料の開示	研究対象者、親族等関係者のご希望により、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書等の研究に関する資料を開示いたします。
試料・情報の管理責任者(研究主機関における研究責任者氏名)	富山大学附属病院 眼科 三原 美晴
研究対象者、親族等関係者からの相談等への対応窓口	研究対象者からの除外(試料・情報の利用または他機関への提供の停止を含む)を希望する場合の申し出、研究資料の開示希望及び個人情報の取り扱いに関する相談等について下記の窓口で対応いたします。 担当者所属・氏名 眼科 三原 美晴 研究対象者等からの相談窓口 電話対応 076-434-7363 三原 美晴